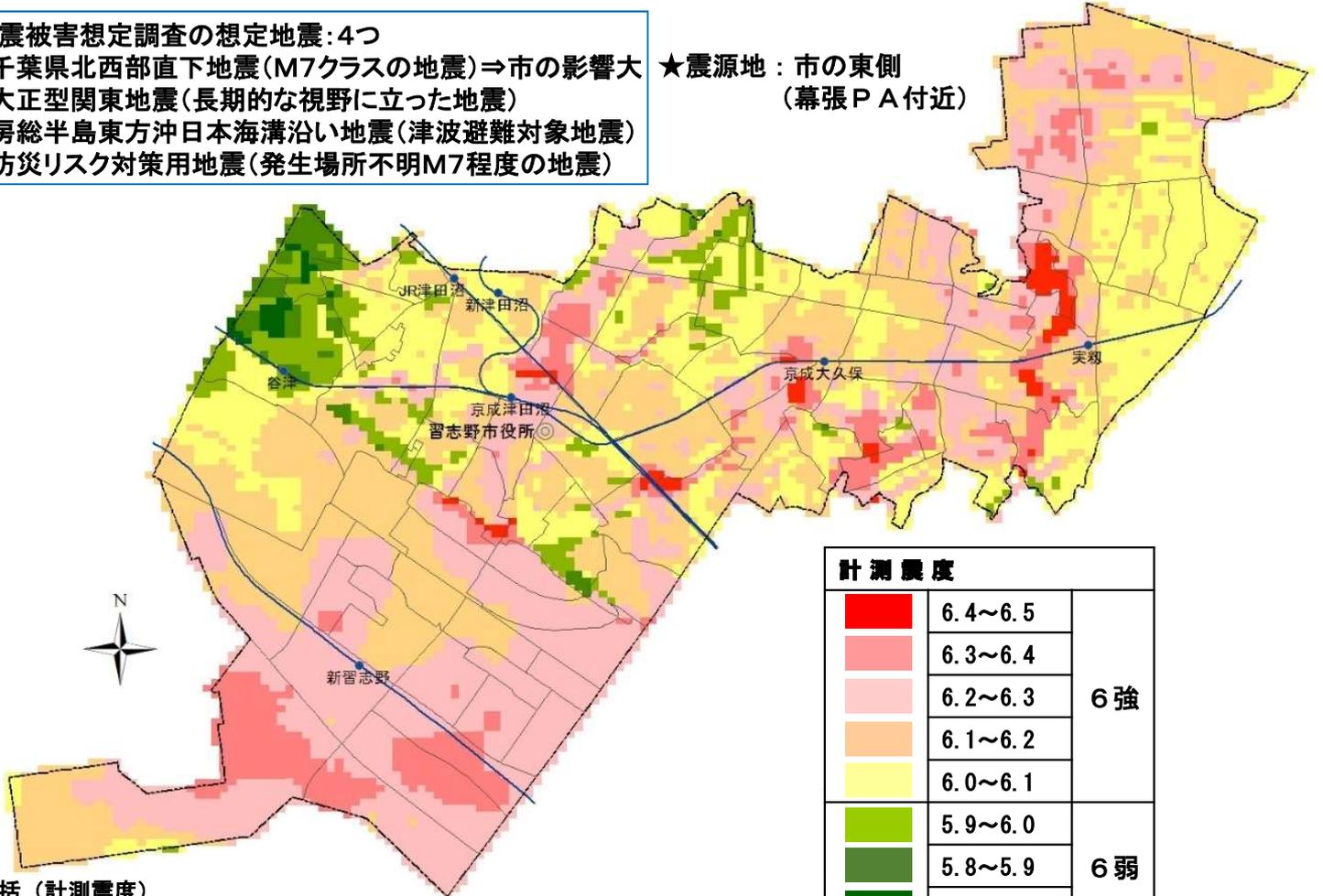


【千葉県北西部直下地震（M7.3）による計測震度分布】

◆地震被害想定調査の想定地震：4つ

- ①千葉県北西部直下地震（M7クラスの地震）⇒市の影響大
- ②大正型関東地震（長期的な視野に立った地震）
- ③房総半島東方沖日本海溝沿い地震（津波避難対象地震）
- ④防災リスク対策用地震（発生場所不明M7程度の地震）

★震源地：市の東側
（幕張PA付近）



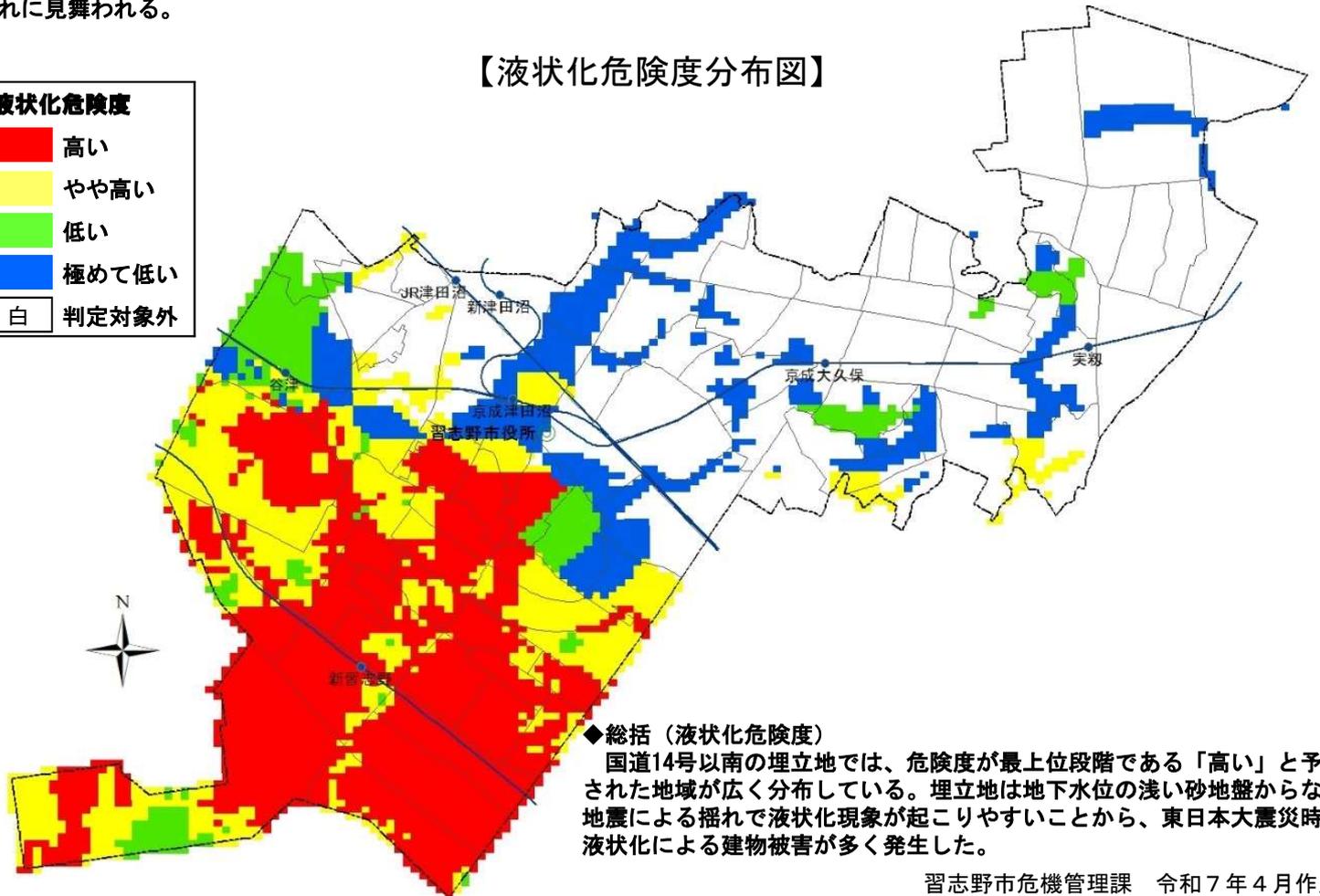
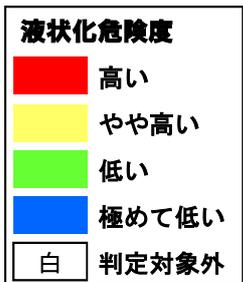
計測震度		
■	6.4～6.5	6強
■	6.3～6.4	
■	6.2～6.3	
■	6.1～6.2	
■	6.0～6.1	6弱
■	5.9～6.0	
■	5.8～5.9	
■	5.7～5.8	

◆総括（計測震度）

習志野市における地震動の強さは、震度6弱から6強である。震源域から距離が近いため、市北西端の谷津5・6丁目付近などを除くほぼ全ての地域で震度6強の強い揺れに見舞われる。

◆計測震度：地震動の強さを示す指標

【液状化危険度分布図】



◆総括（液状化危険度）

国道14号以南の埋立地では、危険度が最上位段階である「高い」と予測された地域が広く分布している。埋立地は地下水位の浅い砂地盤からなり、地震による揺れで液状化現象が起こりやすいことから、東日本大震災時にも液状化による建物被害が多く発生した。